

令和 7 年 9 月定例記者会見要旨

開催時間 令和 7 年 9 月 19 日（金）午前 10 時 30 分 302 会議室

（総務部長）

皆さんこんにちは。

ただいまから 9 月の定例記者会見を始めます。

（市長）

皆さんこんにちは。本日もお世話になりありがとうございます。

今日は随分涼しい日になり、暑さはもうひと区切りかなというように感じますが、よろしく
お願いします。9 月の定例議会も無事にすべての議案を通していただき、決算についての認
定をいただきました。庁内では、これで来年度の当初予算に向けた予算編成に入ります。

○くらしいきいきエコフェスタ

10 月 4 日（土）午前 10 時 30 分 すわっチャオ・諏訪湖イベントひろば

生活・環境・健康の 3 分野について、各種団体・企業による活動紹介や展示を行う。

特別ゲスト：東京都台東区 諏訪市の友好都市、東京都台東区が出席

10 月 5 日（日）午前 9 時 30 分 保健センター

○上諏訪街道まちあるき呑みあるき

10 月 4 日（土）午後 1 時 00 分 諏訪市五蔵街

メイン会場が歩行者天国 交通規制時間 12 時～18 時

呑みあるき当日：チケットを引き換え会場まで持参

チケット引換え会場：JR 上諏訪駅前 アーク諏訪 2F 11 時～16 時

○秋の全市一斉清掃

10 月 5 日（日）午前 7 時 00 分 諏訪湖畔

諏訪湖畔清掃

実施主体 ボランティア団体、周辺住民等

実施時間 午前 7 時～午前 8 時（開会式及び閉会式は行わず流れ解散）

実施場所 諏訪湖畔一帯（下諏訪町境からガラスの里まで）

※集合場所の指定はなし。分散して清掃を実施するため、用具等は事前に団体代表者に配布
し、団体ごとに清掃を開始し、流れ解散とする。

○ともに生きる諏訪セミナー

10 月 19 日（日）午後 1 時 30 分 アーク諏訪 3F すわっチャオ会議室

対象 諏訪市在住者、在勤者、在学者

定員 150 名 託児サービス 5 名（先着順・申込制）

申込期間 9 月 8 日（月）～10 月 6 日（月）

内容：『未来に向けて自分らしく活躍するために』をテーマとし、4 名のパネリストを招いて、
パネルディスカッションを行う。「自分らしく生きる」「自分らしく活躍する」「何かのきっか
けを見つける」明日から頑張ろうと、これからの活力にしていきたい。

パネリスト

大野 曜子 氏 株式会社創和
前橋 亜季 氏 芸名 美代遥
井川 竜太 氏 商社勤務を経て帰郷
両角 帆夏 氏 諏訪清陵中・高校卒業

託児サービス（対象：6 ヶ月～小学校就学前）は聴講申込と一緒に申込み。

○オンラインでの出生届について

これまで、お子さんが生まれた後に提出する出生届は、市役所の窓口か郵送のみの受付だったが、新しい選択肢として、戸籍上の本籍地が諏訪市で条件を満たす方は、オンラインで出生届を提出できるようになる。

導入日時 10月1日（水）から（24時間いつでも届出可能）

○事業者間の取引を支援する地域応援券について

目的 燃料、食材、資材等をはじめとした物価高騰の影響を受けている事業者を支援するため、諏訪市内の事業所等で利用できる諏訪市独自の事業者間取引券を発行することにより、諏訪市の需要喚起や消費を下支えする。

発行内容

発行総額：1億5,600万円、販売総額：1億2,000万円

販売冊数：12,000冊（1冊10,000円）

プレミアム率：30%、プレミアム分の額：3,600万円

業務委託額：500万円(税込)

事業費の計(市負担額)：4,100万円(税込)（負担金3,600万円、業務委託500万円）

購入限度冊数(購入限度額)：30冊（30万円(プレミアム分を含めると39万円)）

全ての事業者が限度冊数(30冊)購入した場合の事業者数：400事業者

取扱事業所全てで利用できる共通券：1冊あたり3,000円分

諏訪市内で営業する中小事業者のみで利用できる地域応援券：1冊あたり10,000円分

取引券が利用できないもの

国や地方公共団体への支払い（税金、水道料金等の公共料金）

商品券、ビール券、図書カード、切手、はがき、印紙、たばこ、電子たばこ、有価証券、プリペイドカード等換金性の高い物、電子マネーへのチャージ、行政指定のごみ袋、株券、宝くじ、家賃、地代など

○諏訪市デジタルプレミアム商品券『SUWA デジチケット』について

目的 物価高騰の影響を受けている住民向け事業として、諏訪市内の店舗等で利用できる諏訪市デジタルプレミアム商品券「SUWA デジチケット」を発行することにより、年末年始における家計支援を行う。

事業スケジュール

10/10（金）～ 加盟店募集開始

11/10（月）～11/24（月） 利用者抽選申込

12/2（火）～1/31（土） 店舗での利用

商品券の概要等

購入できる人 諏訪市に住民登録のある人

販売額 10,000円で13,000円分のチケットを販売（プレミアム率30%）

利用可能店舗	諏訪市内に店舗等を有し、一般消費者向けに事業を行っている事業者
	※飲食、サービス、タクシー、宿泊、建築・リフォームなど幅広い業種を想定
利用可能店舗の内訳	7,000 円分 大型中小店舗共通 6,000 円分 中小店舗専用
商品券の利用方法	各店舗に設置のQRコードをスマホで読取ることにより購入代金を支払い

購入申込期間中、公民館等において購入希望者のスマホを用いた「購入支援」を複数回実施事業者は「事業者間の取引を支援する地域応援券」とは別に加盟店登録が必要

○国勢調査インターネット回答 デモンストレーション

9月20日（土）以降、各世帯へ調査員が訪問し、調査書類が配布される。

かんたん便利なインターネット回答をお願いしたい。QRコードを読み取ると回答に進める。インターネット回答、郵送での提出のいずれも、期限は10月8日（水）

（部長）こちらからの説明は以上となります。

（記者との質疑応答）

○湖周行政事務組合の最終処分場について

（記者）

昨日、湖周行政事務組合の最終処分場の候補地に応募があった湖南北真志野地区を、副市長を始めとして検討委員会の方で視察をしたので、報道も同行しました。まだ応募があった段階で、これから検討に入るという段階ですが、去年の断念の時から一つ進んだという印象を受けていますが、市長の受けとめをお願いします。

（市長）

本当に、難しい案件であると承知しています。板沢地区を断念して以来、とにかく諏訪市内で開設するという約束を守るために慎重に準備を進めてまいりました。8月末までの期間、皆さんに協力をお願いしたところ、1件の応募があったということをお大変ありがたく受けとめています。検討委員会において、副市長をトップに慎重に段取りを組み立ててきており、28項目の基準に合うかどうか、これから審査に入ります。施設が最終処分場ということで、私たちが受け入れていただく地域の皆さんに納得していただけるようなものでなければならぬという思いで、しっかりと設計してもらった段取りに従って、適地であるかどうかを調査し、審査し、そして結論を待ちたいと思っています。取材もしていただき、ありがとうございます。検討委員会のトップの副市長も、私も、こうしたものであるからこそ、情報公開は、ちゃんと対応していくことが良いと思っているので、逐次、ご報告をしていきたいと思っています。

○全国新作花火チャレンジカップ 2025 について

（記者）

新作花火が模様替えしたチャレンジカップが始まり、ここまで2週にわたって、市長もご覧になったかと思いますが、ご覧になった感想と、決勝戦への期待などをお願いします。

（市長）

期待の多かった新作花火は、6 年ぶりに復活しました。しかし、様々な環境の変化や、条件等々を多く考え抜く中で、今回のトーナメント方式、勝ち抜き戦の個人戦、新作花火コンペティションということになりました。初回は、思いのほか大勢の皆さんが湖畔に集まり、キッチンカーも何台か出ていたことがあったからでしょうか、お祭りの賑わいが湖畔公園に感じられたことと、周辺のホテルやレストラン等も満館であったと伺っており、夏の終わりが秋の始まりという中で、一つの効果というものを感じました。そして、エントリーがあった 25 名の花火師と法被を着て私も一緒に写真を撮ったり、皆さんと会話をしましたが、ここにエントリーして、丹精込めて作った花火を持ってきましたと、この大会に、アワードに対する積極的な取り組みと意欲が感じられました。若手の花火師に育っていただきたいという思いと花火の町としてのコンペティションに育ってもらいたいという期待は持っています。2 回目は雨模様でしたが、打ち上げの時には小降り状態になり、急に人が増えたという状況がありました。そういった状況を見ますと、一定の認知をされていることを感じ、うれしく思います。

○湖周行政事務組合の最終処分場について

（記者）

先ほど幹事社の方から質問があった最終処分場の件ですが、市長はその現地を視察などされるお考えでしょうか。

（市長）

もちろんあります。時間を見つけないといけませんので、遠くないうちに現地を見たいと思っています。

（記者）

私も 2 回見学しましたが、応募があった場所は、平らの部分があるし、緩斜面があります。候補地は、急斜面と崖地に挟まれた形です。今の気象状況等を考えると、その斜面が崩壊した時に、特にその危険性やリスクを相当考えなければいけない立地だと思います。処分場として整備する際にその急斜面のところを擁壁などで手当する必要があると思いますが、そうなると大規模な施工が必要になるなどコストも変わってくるのではないかという立地だと思います。質問ですが、コストをかけていく場合、それは青天井なのかどうなのか、処分場整備に際して、どの程度の施工費用を想定されていますか。

（市長）

想定されるいろいろな心配や懸念はあると思いますが、まずは候補地として適地かどうかという調査検討から行うところです。地質など 28 項目の検討を項目に照らして選定していくという段階です。それが候補地として決まったら、それから建設においてどのくらいの規模でどのくらいの予算をかけてという部分を、今度は事業主体としての湖周行政事務組合の話になってきますので、今は候補地に手が挙がったので、必要に応じて、簡易調査というか、本格調査ではなくて候補地としてどうかということの調査が検討委員会の中でもされると思います。今はその先の予算について発言する段階にはない状況です。

（記者）

予算の話は決まった後の湖周 3 市町の組合の話になると思いますが、ただその前段階として候補地として決定、というのがあるわけです。これは基本的に諏訪市が、その適地かどうかという判断をした上で組合に報告するという段取りになります。事実上、諏訪市の判定というか適地としての評価が、組合の結論とほぼイコールということだと思うのですが、そうなってくると候補地として決めた後に金目の話が出てくるという順番になるということではないですか。

（市長）

候補地として諏訪市は選定をしますが、決定するのは湖周行政事務組合です。それには、28 項目の添付すべき項目に照らして、根拠をつけて提言をするということになると思いますので、結果をまず見ていただくということだと思います。

（記者）

繰り返しかもしれませんが、候補地として決めてしまったあとにいくら予算になるかわからないということですか。

（市長）

記者さんが現場をご覧になった感想、急斜面ということで、ぼう大な工事費がかかるのではないかという推測を前提に話をすることはできません。急斜面が本当に崩れやすい地質なのか、大規模な工事が必要になるのかは、これから調査を行うので、その心配を前提に答えることはできません。そういったことも含めて検討委員会で適地であるかどうかを判定していきますので、適地であると認められた次のステップとして、どういうものを作っていくかということになります。段取りがあるということを理解していただければありがたいと思います。

○自由民主党総裁選挙について

（記者）

国政を話題にしたいのですが、来週月曜日に自民党総裁選が告示になります。候補者 5 人が事実上固まり、選挙という形になるようですが、課題が山積している中で政治の不安定さというものを指摘されてます。一首长としてどんな論戦を期待するのか、お聞かせください。

（市長）

地方行政の立場として、具体の案件については、今までの議論の延長線上に、地方創生の課題であり給食費の問題とか高校の無償化の問題などがあります。これを実現していくために、継続されているそうした課題に対する議論を進めていただくということになるだろうと思いますので、その実現に注目しています。

地方としては要望を出しています。それをしっかり実現していただきたいという願いを持っています。その前段として、政治の信頼性というものが大事だと思います。少数与党という現状は変わらないので、野党の皆さんとどのように取りまとめていくのかということも課題であると思います。同時に、政治資金の党のマネジメントに対しての不信感から厳しい状況が始まっていると感じますので、そうしたところをどのように整理をされて、新たな党としてスタートを切っていくのか、というようなところを注目したいと思います。政治というの

は私も自分の戒めとして、「民は信無くば立たず」ということだと思いますので、市民、国民の信頼が立って初めて、事業を動かしていけるということになりますから、そのところのリーダーシップをとっていかれる総裁が誕生されていくことを願っています。

（総務部長）

以上をもちまして 9 月の定例記者会見を終了します。ありがとうございました。